

令和
5年度

久留米市社会福祉協議会 事業報告

主な取り組みと決算状況をお知らせします。

1 地域福祉活動の推進支援

①「くもめ支え合うプラン」の地域展開

地域の各種会議や学習会
の場を活用し、計画策定を
働きかけました。また、策定
した計画に基づき、具体的
な取り組みの実践、進捗確認
を行いながら、地域福祉活
動を進めました。

②見守りや支援の対象者を広げる

校区社会福祉協議会やふ
れあいの会などが行う地域
福祉活動について、校区の実
情に添った助言・支援を行
いました。また、コロナ禍や7
月の水害を契機に顕在化し
た生活困窮世帯に対し、課
題解決に向けて寄り添いつ
つ、食糧支援の実施などに取
り組みました。

③コミュニティ組織との新たなネットワーク

すべての校区に支え合い
推進会議が設置されたこと
を受け、改めて支え合い推進
会議の意義等についての説
明を行いました。

各校区の取り組みを周知す
るため、校区広報紙掲載の
促進や、各校区の支え合い
推進会議の取り組み等を紹
介する情報誌「つながるスイ
チ!!」を活用し、多くの地域
住民に地域での福祉活動を
伝えられるよう努めました。

④興味や関心事を軸として集う市民グループとの連携

世代を超えて人と人、人
と社会資源が分野を超えて
緩やかにつながりながら、
誰も取りこぼさない社会づ
くりに取り組んでいる市民
グループと連携し、居場所
づくりと当事者同士の繋が
りづくりを進めました。

⑤地域福祉を担う人材の育成

校区社会福祉協議会役員
基礎セミナーを実施。また、
社会福祉大会では、災害対
応により、実施時期を2月
に延期し、ボランティアアフ
ェスティバルと同日開催。「災
害」から私たちの地域福祉
活動を考える」をテーマに、
災害時に求められる地域福
祉活動について議論を深め
ました。

2 相談・支援

①組織内の情報を支援活動に生かす

新型コロナウイルスによる特別貸
付の借受人に対し、相談員
を増員し支援を行うことも
に、福祉課題を抱えた世帯
の情報を組織内で共有し、
解決に向けた支援を行いま
した。また、7月の豪雨災害
では、災害ボランティアセン

②継続的で柔軟な対応を行う

ターの活動の一環として被
災者の福祉課題の発見とそ
の解決支援に努め、災害ボ
ランティアセンター閉所後
も引き続き寄り添った支援
を行いました。

④要支援者の情報を速やかに把握する

年間を通じて、担当コー
ディネーターが地域や個別
の世帯等の困りごとや課題
の把握に努めました。

⑤被災者相談支援事業の受託

被災者支援活動の中で、
被災された人が普段から生
活課題、福祉課題を抱えて
いることが明らかになった
ため、そうした課題を抱え
た人を発見し、寄り添った支
援を展開することを目的と
する「被災者相談支援事業」
を1月から3月まで受託し
ました。

3 権利擁護

①法人後見事業

面会や訪問が制限されて
いるなか、本人に不利益が
生じないよう関係機関と連
携を図りながら臨機応変な
対応を図りました。

②市民後見人の育成

市民後見人養成講座修了
生に対して、必要な知識及
び技術などの習得を目的に

③地域へのきめ細かな働きかけ

担当コーディネーターが、
小学校区ごとに開催されて
いる地域福祉の推進に関す
る住民同士の話し合いの場
に参加し、住民間の情報共
有、支え合う関係づくりの
促進、課題解決に向けての

支援を行いました。

に把握する

の把握に努めました。

被災者支援活動の中で、

被災された人が普段から生

活課題、福祉課題を抱えて

いることが明らかになった

ため、そうした課題を抱え

た人を発見し、寄り添った支

援を展開することを目的と